

7月の消防広報重点事項

発行 令和7年6月13日
盛岡市危機管理防災課
編集 盛岡中央消防署

7月1日は「国民安全の日」です！

『国民安全の日』は、国民の一人一人がその生活のあらゆる面において、施設や行動の安全について反省を加え、その安全確保に留意し、これを習慣化する気運を高め、火災等の日常生活の安全を脅かす災害の発生の防止を図るため、昭和35年に創設されました。

消防署では、行事の一環として、一般家庭を訪問し、住宅火災の予防方法や住宅用火災警報器の設置、維持管理の指導を行います。

この機会に、日常生活の安全について見直してみましょう。

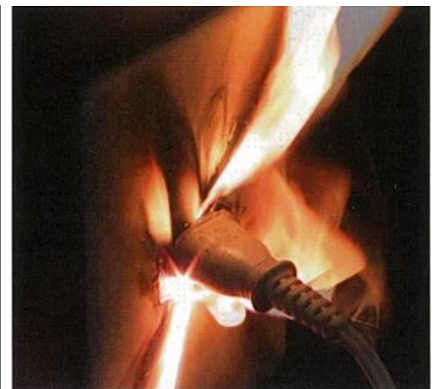
住宅における電気火災を防ぎましょう！

近年、電気器具類を原因とする火災（家電製品や電気配線を原因とする火災）は増加しており、平成25年は1,431件でしたが、令和4年には2,018件と約4割増加し、住宅火災の原因の第1位となっています。

○ 電気器具類を原因とする火災の主な要因

テーブルタップの差し込み口に水や異物が入りショート（トラッキング現象）し、火災となった。

電源コードの上に家具等の重いものが載っていたため断線し、火災となった。



○ 充電式電池等による廃棄物処理施設等（廃棄物処理施設、塵芥車）における火災も増加しています。充電式電池等による火災は、平成24年には全火災件数のうち0.1%（2/378件）でしたが、令和3年にはおよそ2割（79/517件）を占めるまで増加しています。

○ 充電式電池等を原因とする火災の主な要因

不燃ごみとして廃棄されたモバイルバッテリー等（電子たばこなどを含む。）が、廃棄物処理施設内等で圧縮されて破損したために火災となったそのほとんどが、リチウムイオン蓄電池を含む製品が不適当に廃棄されて発生した火災です。



ごみ袋内の充電式電池から出火した事例

（東京消防庁HPより引用）

リチウムイオン蓄電池等の充電式電池を含む家電製品等を廃棄する場合は、地域の分別ルールに従って廃棄することが重要です。

熱中症を予防しましょう！

熱中症は、温度や湿度が高い中で、体内の水分や塩分（ナトリウムなど）のバランスが崩れ、体温の調節機能が働かなくなり、体に様々な障害をおこす症状のことです。

＜熱中症の症状＞

重症度	症 状	対 処	医療機関への受診
	- めまい - 立ちくらみ - こむら返り - 手足のしびれ	- 涼しい場所へ移動 - 安静 - 冷やした水分、塩分補給	症状が改善すれば受診の必要なし
	- 頭痛 - 吐き気・吐いた - 体がだるい - 集中力や判断力の低下	- 涼しい場所へ移動 - 安静 - 衣類をゆるめ体を冷やす - 十分な水分と塩分の補給	口から飲めない場合や、症状の改善が見られない場合は、受診が必要
	- 意識障害（受答えや会話がおかしい） - けいれん - 運動障害（普段通りに歩けないなど） - 体が熱い	- 涼しい場所へ移動 - 安静 - 衣類をゆるめ保冷剤などで冷やす	急いで救急車を要請

＋ 熱中症の応急手当 ＋

- ＋ 涼しい場所や日陰のある場所へ移動し、衣服を緩め、安静に寝かせる
- ＋ エアコンをつける、扇風機・うちわなどで風をあて、体を冷やす

首の周り・脇の下・太もものつけね
など太い血管の部分冷やす



飲めるようであれば
水分をこまめに取らせる



持病をお持ちの方やお子さんは、かかりつけの医師とあらかじめ相談し、熱中症対策についてアドバイスをもらっておきましょう

盛岡市内の1月から5月までの火災件数

	令和7年	令和6年	比較増減
火災件数	21件	24件	3件減
死者数	3人	3人	増減なし

令和7年5月中の火災件数の内訳

5月 9日 津志田三丁目 店舗1棟ぼや
 5月15日 繫字猿田 有料老人ホーム1棟ぼや